

1. 履歴書について

写 真  
40 mm×30 mm  
【1】

応募分野名	【2】	赴任希望(可能) 年月日	年 月 日
-------	-----	-----------------	-------

履 歴 書				
フリガナ	姓 名	性別	生年月日(年齢) ※2025年4月1日 現在	年 月 日
氏 名	【3】	【4】		【5】(満 歳)
アルファベット表記		現住所	〒	
電話番号			【6】	
携帯番号		E-mail	【7】	
学 歴				
年 月	事 項			
年 月 年 月	【8】			
学 位				
年 月	事 項			
年 月	【9】			
職 歴				
年 月	事 項			
年 月 年 月	【10】 (年 月まで) (現在に至る)			
学 会 及 び 社 会 に お け る 活 動 等				
現在所属している学会	【11】			
年 月	事 項			
年 月 年 月	【12】			
賞 罰				
年 月	事 項			
年 月 年 月	【13】			
年 月 日			【14】	上記のとおり相違ありません。
			氏名	Ⓔ

※事項欄は、適宜、行を挿入してください。

■履歴書の年月の記入は、全て西暦で記入してください。

【1】 写真	3ヶ月以内撮影した写真（縦40mm×横30mm）を貼ってください。写真の裏面に氏名を記入してください。ページ全体のカラープリンタによる印刷でもかまいません。
【2】 応募分野名	公募件名を記入してください（例： 「応用計量経済学」）
【3】 氏名	戸籍名、フリガナ、アルファベット表記を正確に記入してください。外国籍の方は、アルファベット表記とともにカタカナ表記も記入してください。教育研究業績書の項目に旧姓等の表記がある場合は、括弧書きで旧姓等も記載してください。
【4】 性別	記入したくない場合、空白でも構いません。
【5】 生年月日（年齢）	※印現在の満年齢を記入してください。
【6】 現住所	郵便物の配達がすぐに確認できる住所を正確に記入してください。
【7】 E-mail	E-mail アドレスをお持ちの方は記入してください。本学からの事務連絡等に使用します。
【8】 学歴	高等学校卒業（高校卒業に関する記載を含む）からの学歴を、学位・称号を含めて記載してください。留学歴があればそれについても記載してください。海外の大学等の学歴を記載する場合は、大学の名称や学位名をアルファベット表記とカタカナ表記を併記し、国名も記入してください。卒業・修了・中退・単位取得退学等を明記してください。
【9】 学位	学位・称号は学位記を確認し、学位記に付記される専攻分野の名称及び学位論文の題目を併記してください。「例： 博士（〇〇学）（第△△△号）の学位授与（〇〇大学大学院〇〇研究科） 博士学位論文題目：「・・・・」」
【10】 職歴	すべての職歴（自営業、主婦、無職等含む）を記入するとともに、職名、職位、常勤・非常勤の別についても明記してください。在職期間は（〇〇年〇〇月まで）として事項欄に記入し、また、現職等には（現在に至る）と明記してください。学部卒業後等の研究生・聴講生等の経歴、海外での研究歴については、学歴ではなくこちらの職歴に記載してください。
【11】【12】 学会及び社会における活動等	現在の所属学会等の名称を正確に記入してください。また、専攻や研究分野に関連する事項、教育研究上に関連する事項を記入してください。
【13】 賞罰	賞：公的機関・学会・出版社等からの表彰・職務上の表彰等。 罰：懲戒処分（研究費の不正受給にかかる処分やハラスメント等を含む）等を記入してください。事項がない場合、「なし」と記入してください。
【14】 署名	自筆署名の場合、押印はなくても構いません。

2. 教育研究業績書について

## 教 育 研 究 業 績 書

年 月 日

氏名

印

研 究 分 野

研 究 内 容 の キ ー ワ ー ド

【1】

【2】

### 教 育 上 の 能 力 に 関 す る 事 項

事 項	年 月 日 (期 間)	概 要
1 教育方法の実践例 【3】 ① ②		
2 作成した教科書、教材 【4】 ① ②		
3 教育上の能力に関する大学等の評価 【5】 ① ②		
4 実務の経験を有する者についての特記事項 【6】 ① ②		
5 その他 【7】 ① ②		

### 職 務 上 の 実 績 に 関 す る 事 項

事 項	年 月 日 (期 間)	概 要
1 資格、免許 【8】 ① ②		
2 特許等 【9】		

①		
②		
3 実務の経験を有する者についての特記事項 【10】		
①		
②		
4 その他 【11】		
①		
②		

**研究業績等に関する事項**

著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要 (200字程度)
(著書) 【12】 (1) (2) (3)				
(学術論文) 【13】 (1) (2) (3)				
(その他) 【14】 (1) (2) (3)				

※事項欄は、適宜、行を挿入してください。

■教育研究業績の年月日の記入は、全て西暦で記入してください。

■「教育上の能力に関する事項」【3】～【7】は、できるだけ積極的に記載するようにしてください。

■「研究業績等に関する事項」【12】～【14】は、これまでの全ての研究活動について、記載して構いません。

【1】 研究分野	科学研究費助成事業の「系・分野・分科・細目表」の「分野」「分科」「細目名」を参考に記述してください。
【2】 研究内容のキーワード	ご自身の研究内容をよく表すキーワードを5つ以内で記入してください。
【3】 教育方法の実践例	教育に関する取り組みの中で、学生の理解を図るため、工夫をこらしたわかりやすい授業を実施している場合、その内容を記載してください。 (例：授業外での学習促進の取り組み、授業内容のWeb公開、アクティブラーニング、ICTやLMS等の活用等)
【4】 作成した教科書、教材	教育に関する取り組みの中で、学生の理解を図るために作成し、活用している教科書や教材等があれば記載してください。

【5】 教育上の能力に関する大学等の評価	<p>学生の理解を図るために行っている教育上の取り組みに対して、大学等から高い評価を受けたものがあれば記載してください。</p> <p>(例：自己点検・自己評価の結果、学生による授業評価結果、教員相互による評価結果等)</p>
【6】 実務の経験を有する者についての特記事項	<p>担当授業科目と関連のある実務や、学校現場等の教育に関する取り組みの中で、学生の理解を図ることに資するものがあれば記載してください。</p> <p>(例：企業内教育、職員・関係者に対する指導、社会講座、学校等での教育実績、出前講座、公開講座等)</p> <p>実務の経験が無い場合には、「なし」と記入してください。</p>
【7】 その他	<p>上記【3】～【6】に該当しないものを記載してください。大学等での講義経験のある方は、担当している科目及び公募担当科目以外に担当できる科目について記載してください。</p>
【8】 資格、免許	<p>取得した資格、免許について記入してください。特に、教育に関する免許や資格を取得している場合は必ず記載してください。</p>
【9】 特許等	<p>特許、実用新案等があれば記入してください。</p>
【10】 実務の経験を有する者についての特記事項	<p>担当授業科目と関連のある実務経験を有している場合には、従事した機関・団体名等を含めてその職務内容等を記載してください。</p> <p>(例：新製品開発、共同研究実績、国際援助、金融実務、コンピュータシステム開発ほか)</p> <p>実務の経験が無い場合には、「なし」と記入してください。</p>
【11】 その他	<p>上記【8】～【10】に該当しないものを記載してください。</p>
【12】～【14】について	<p>1) 「研究業績等に関する事項」の業績には、(著書)(学術論文)(その他)の3区分毎にそれぞれ通し番号((1), (2), (3)・・・)を括弧付きで振ってください。(著書)(学術論文)(その他)の名称や書誌情報は、略さずに正確に記述してください。</p> <p>2) 別刷を付す主要な著書・論文等(3編)については、通し番号の横に○を記してください。(例：(1), (2)○, (3)・・・)。</p> <p>3) 「単著・共著の別」は、「単」又は「共」と記載してください。</p> <p>4) 「発行又は発表の年月」は、著書や論文等の場合はその発行年月、学会発表等の場合は発表年月を記載してください。</p> <p>5) 「発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称」は、著書の場合は出版社等、論文等の場合は掲載雑誌等の名称・巻・頁、発表等の場合は学会大会等の名称・場所を記載してください。</p> <p>6) 概要は、200字程度の日本語で記述してください。冒頭には、著者名を掲載順に明記して、応募者の氏名には下線を引いてください。共著の場合は、当該著書の概要のほか、本人の担当部分の章・節・題名・掲載ページを記載してください。</p>
【12】(著書)	<p>(著書)とは、専門研究書、専門領域に密接な関連を持つ一般書、翻訳書、教科書等を言います。それ以外の著書がある場合は、その旨注を付してください。</p>
【13】(学術論文)	<p>(学術論文)とは、学会・機関等の刊行する学術雑誌、学会誌、紀要等に掲載されたものをいい、その内容は所属学会等の水準を保っているものを言います。査読制度の整った学術雑誌等に査読を経て掲載された論文等の場合は、名称に続いて【査読有】と記述してください。学位論文(修士論文・博士論文等)は、この(学術論文)の項目に記載してください。</p>
【14】(その他)	<p>(その他)には、(著書)及び(学術論文)に含めることのできない研究業績を記載してください。芸術・体育等については、相当の社会的評価のある音楽会、展覧会、体育大会等において発表された演奏、作品、競技成績等をもって研究業績としてください。このほか専攻分野について高度な知識及び実務的な経験を持つ場合には、実務経験、業績等を総合して研究業績に代えることができるため、積極的に記載するようにしてください。</p>